

2007 年度山谷夜回りの会活動報告

2008/3/28
文責 村井

1 はじめに

山谷夜回りの会をご支援いただきまことにありがとうございます。本年度の当会の活動報告書を皆様のお手元に送らせていただきます。

当会は 2002 年度まで、フランススコ会中谷神父主催の『山里の家』の炊き出しグループとして活動してまいりましたが、ご高齢になられた中谷師の体力的な問題などの事情で、『山里の家』としての炊き出し活動が中止となったため、2003 年度より『山谷夜回りの会』として新たに活動を開始いたしました。

『山谷夜回りの会』として活動をはじめてから、早いもので 5 年が経過いたしました。5 年間の間にも、刻一刻と社会は移り変わっております。最近、メディアでホームレスの方たちの問題と並んでよく目にするのは、ネットカフェ難民やマック難民と呼ばれる、非正規雇用に苦しめられる若者たちの姿です。短期間の派遣労働や、日雇いで労働によって不安定な生活を強いられ、定住場所のない生活から脱出できない方々が、都市部などを中心に増えてきているのだそうです。この新しい社会現象につけられた名前は耳慣れないものですが、この状況自体は山谷の皆さんが若いころに置かれていた状態に非常に近いものではないでしょうか。

低賃金労働力として、将来の保証のない状態で働く。怪我をしたり、年をとったり、あるいは少し景気が悪くなると簡単に切り捨てられていく。これらは、山谷の皆さんにも、ネットカフェ難民と呼ばれる方たちにも共通する点です。日本の高度経済成長の陰には、低賃金の日雇い労働の人々からの搾取がありました。現代の日本が長い不景気から回復しつつある背後には、ネットカフェ難民と格差社会の問題が隠れているようです。

派遣社員や契約社員という、不安定な雇用が当たり前になっていくことで、近い将来日本中が山谷のようになっていくのではないかと、そのような危惧を最近強く感じています。

ホームレスの方たちを支援する上での最終的な目標は、今家を失っている方たちが住所を取り戻し、私たちの支援を必要とせず、社会で暮らしていけるようになることです。しかしながら、日本社会の現実、私たちが目指すところは反対の方向に向かって動いているようです。

当会の活動は、社会全体を動かせるようなものではございませんが、家を失った方たちの日々の必要に応じて、これからも私たちの小さな手で行える範囲の支援を継続していきたいと考えてございます。これまで 5 年の間活動を継続してこられましたのは、お米・梅干・海苔・毛布・衣類・日用品・献金、そして祈りと励ましなど、様々な形でご支援くださいました皆様のおかげでございます。皆様のお力添えをいただきながら、引き続き山谷の皆様への支援活動を続けていければ幸いです。来年度も引き続きご支援のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

簡単ながら、今年一年間の活動の様子をご報告させていただきます。

2 山谷の町の様子

新宿区の公園や山谷地域の川沿いなど数箇所で行われていた地域生活移行支援事業が徐々に終了を迎えつつあります。地域生活移行支援事業とは、公園や河川敷でテント生活を営む方たちに 2 年間だけ低家賃住宅（月 3000 円）を貸し出し、その間に就職活動を行って自立ができるようにサポートするというものです。その代わり、再び元のテント生活をしていただいていた場所に戻って暮らすことは厳しく制限されます。この事業は、期間限定・地域限定で行われていた東京都の支援策であるため、山谷地域の全てが対象になっているわけではありませんが、大きな影響はあったように思います。

結果としては、当初の予測どおり一部の方は自立を達成できたものの、多くの方は自立に必要な月収を得るようになることができず、生活保護を受けるか、路上に戻るといった選択を迫られています。アパートからの追い出しの強制執行を阻止するための裁判も起きています。もともと、どうしても仕事が見つからないのでホームレス生活をせざるを得なかった方たちが、二年間の期

限付きで仕事を見つけられる可能性はそれほど高いとは思えません。仕事を見つけられなかった多くの方たちにとっては、結果として自分の生活基盤であるテントを失い、戻る場所をなくしたということになってしまいます。

また、事業後には公園や河川敷でのテント設営が厳しく制限されるようになったため、地域生活以降支援事業に参加しなかった方たちの側にとっても、あまりよい状況ではありません。山谷周辺の河川敷では、今年一年日々テントの撤去が厳しくなっており、ブルーテントが並んでいた風景は一変いたしました。しかしながら、それはホームレスの方たちが河川敷からいなくなったということではありません。テントを設営できなくなったため、夜の間だけ河川敷に戻ってきて寝泊りする方が増えてきています。そのため、真冬でもダンボール一枚を抱えて凍えながら夜を過ごすことになってしまっています。

石原都知事にとっては、ブルーテントは東京都の恥だったのかもしれませんが、冬を越せずに人が凍死することと、見栄えの悪さとどちらがより大きな問題なのか、もう一度考え直していただきたいものです。

3 おむすび

炊き出し・夜回りで、皆さんが一番喜んでくださるのは、何といたってもおむすびをお渡ししたときです。「おいしいよ、いつもありがとう」たくさんの方が声をかけてくださいます。毛布配りのときなどは、「今日は毛布だけでおむすびないのか、ざんねんだな…」とがっくり肩を落として帰っていかれる方も多いです。

今年度もおむすびは、カトリック町田・松戸両教会の皆さまが一つ一つ心をこめて作ってくださいました。おむすび作りを続けてまいりますのは、定期的には大量のお米をご寄付くださる方、御海苔・梅干をお届けくださる方、教会から山谷までおむすびを運んでくださる方、その他にもたくさんの方々のご支援のおかげでございます。本当にありがとうございます。皆さまのおかげで、今年度は9931個、お米に換算すると約710kg分のおむすびを山谷の皆様にお届けすることが出来ました。

お一人基本的には二個と決めてございますが、中には非常に体力の弱った方や、ずっと食べていない方もいらっしゃいます。そのような場合には、他の方に見られぬようにこっそりと大目にお渡しすることもございます。人によって必要な食べ物の量は違いますので、本当の意味で平等にお配りするという事はなかなか難しいものだなあ、と考えつつ日々試行錯誤を重ねてございます。

4 衣類・日用品

2005年度より、一箇所に集まっていたいただきお配りする形から、おむすびと衣類・日用品を持って山谷地域を回ってお配りする形に変更いたしました。ほぼ同じ時間帯に同じルートで回っているので、こちらの到着を待っている方が大分増えてまいりました。夜の時間帯ということもありご近所の方のご迷惑になりますので、なるべく静かにするように、早く撤収するように心がけてお配りしてございます。幸いにして、今のところはあまり大きな問題は起きてございませんが、今後も気をつけて参りたいと思います。

冬場の物資の保管と輸送は今年も大きな問題でした。毛布を多めに配りの時には車を多く出すなどして対応いたしました。が、昨年度まで車を毎回出してくれていたメンバーが事情により参加できなくなったため、前年度に比べて輸送力が落ちた点は否めません。最もかさばる毛布類は、昨年度に比べて分量が少なめになってしまいました。さらに今年度の炊き出しは、台風のために一度中止になり(9月6日)、カトリックの復活祭に二回重なってしまったため例年よりも活動回数が少なくなりました。その結果として、今年度お配りした毛布・衣類・日用品の量が減ってしまったという側面もございます。

その一方、今年度はカトリック田園調布教会から大きな支援を受けることができました。一年間衣類のご寄付を集めていただき、また、教会内に保管させていただきました。おかげさまで、ジャンパーとセーター・カーディガンなどの、冬場に必須の防寒具類を大量にお配りすることができました。昨年度までは毎年冬場のジャンパーの品不足が顕著でしたが、今年は田園調布から

のご寄付のおかげで大幅に緩和され、より多くの方に行き渡りました。その他の衣類に関しましても、田園調布から大量にご寄付いただいたおかげで、購入して不足分を補う必要がかなり減少しております。どうもありがとうございます。

その他に、個別の品物といたしましては、靴下、髭剃り、パンツなどが不足気味でした。下着類はあまりご寄付では集まりませんので、不足分は安売りのお店で購入をしてございます。今年度は衣類の整理に時間がかかり、下着・日用品類の購入が炊き出しに間に合わず結果的にお配りできる量が少なくなりました。来年度は時間配分や分担を調整して、山谷の皆様のご需要によりお応えできるような形にできればと思っております。

5 会計報告と口座について

今年度も皆さまから大変たくさんのご寄付をいただきました。中でもおむすびづくりでも大変お世話になっております松戸教会からは、今年もバザー売り上げをご寄付としていただきました。どうもありがとうございました。簡単ながら、2007年度の会計報告をさせていただきます。

具体的な用途といたしましては、毛布と防寒具、衣類・日用品の購入、ご支援をいただいた皆様への報告書の郵送費となっております。内訳といたしましては冬場の毛布・下着・日用品類の購入費が大きなウェイトを占める形となっております。

今年度の繰越金 20,248 円は、2008 年度のおにぎり活動費や日用品購入費に充てさせていただきます。どうぞご了承下さい。

当会のご寄付の口座ですが、下記になっております。2008 年度もご支援どうぞよろしくお願いいたします。

郵便振込 口座番号：00130-6-759149 口座名称：山谷夜回りの会を支える会

以下に 2007 年度の会計報告を掲載させていただきます。

2007 年度山谷夜回りの会会計報告書

(2007 年 4 月 1 日～2008 年 3 月 31 日)

(単位:円)

	科目	金額
1. 収入の部(A)	前年度繰越金	25000
	寄付金収入	451130
	合計	476130
2. 支出の部(B)	毛布代(620 枚)	248000
	下着類・日用品類代	185952
	通信費・印刷代	16800
	合計	450752
3. 次年度繰越金(A-B)		25378